

新緑に純白が映えました

第19回ひとつばたご祭り

新緑の季節恒例の「ひとつばたご祭り」が、ゴールデンウィーク中の5月4日に上対馬町鰐浦地区で開催され、4,200人の人出で賑わいました。

地区周辺の山々には、ヒトツバタゴの白い花が映え、たくさんの方がカメラにその景色を収めていました。

鉢植えのヒトツバタゴを
買い求める来場者



純白の花が満開のヒトツバタゴ 奥に見えるのが海楽島うにしま



箏曲・対馬古今会が合同演奏会

5月13日に対馬市交流センターイベントホールで、箏曲・対馬古今会主催の合同演奏会「箏曲と民謡のかけはし～ふたたび～」が開催されました。

箏（こと）と尺八、三味線などの演奏をはじめ、コントラバスや舞踊、女性コーラスとの共演があり、5時間を越える演奏会になりましたが、会場には立ち見が出るほどの観客が入場して、演奏会を楽しんでいました。

【ワンポイント解説】「箏」は、奈良時代に雅楽に用いられた13本の弦を持つ楽器ですが、「こと」とも読み、今では「琴」と呼ばれることが一般的です。しかし、本来「箏」は可動式の柱（じ）を使用する弦楽器のことで、柱を用いない琴とは区別されています。しかし、昭和20年代初期に制定された当用漢字表によって日常使用する漢字が制限され、「箏」の字は「琴」がその代替文字として使用され、今では琴と呼ばれるようになったと考えられます。

修学旅行中の韓国の高校生 「親子丼」作りで交流

5月22日、対馬に修学旅行中の大真高校（韓国ソウル）の1年生男子生徒21名が対馬高校を訪問し、韓国の言葉や歴史について学んでいる同校国際文化交流コースの生徒31名と「親子丼」作りを通して交流を深めました。

対馬高校の生徒は、調理方法を大真高校の生徒にハングルや英語、時にはジェスチャーを交えながら一生懸命に説明し、大真高校の生徒たちは、慣れない手つきで野菜を切ったり、肉を炒めたりしていました。最初はぎこちなかった両校の生徒たちもすぐにうち解けた様子で、仲良く調理に励んでいました。恥ずかしがってあまり話しかけない対高生に、「次に何すればいいですか？」と積極的に日本語で話しかけてくる生徒もいて、周囲を笑わせていました。

大真高校は、ソウル近郊にある進学校で全校生徒は1,608名。お隣の国をもっとよく理解しようと今回初めて対馬を訪問しました。1年生約570名が3泊4日の行程で対馬に滞在し、観光名所などを巡りました。



対馬高校の生徒と協力して調理を行う大真高校の男子生徒

第32回 つしま木材市

5月25日、美津島町洲藻の対馬森林組合貯木場で、今年2回目となる木材市が開かれました。

会場には、島内で生産されたスギ(1,390本)、ヒノキ(1,416本)合わせて2,806本(約260立法疋)の木材が整然と並べられ、競りに参加した島内外の5業者によってすべて落札されました。

関係者によると、原油の高騰などによる外材価格の上昇等により、対馬産木材の価格も上昇しているそうです。木材市は年4回開催されており、次回は秋に開催される予定です。



競りの様子

巣を追われたスズメのヒナ 女子高生が保護・飼育

5月14日午後4時頃、厳原町中村の寿司販売店の屋根から、スズメのヒナ鳥5羽が落ちて来たのを通行人が気づき保護しました。ヒナを戻そうと九州電力のバケット車も駆けつけましたが巣の中にはヘビが・・・。追い出そうとエサでつったり、殺虫剤をかけたといった試みも効果はなく、ヘビは居座ったままでした。近所の人々が小さなカゴを用意し、ヒナを入れて巣近くの電線にぶら下げてみたものの、親鳥は警戒するばかりで、結局エサをあげることはできませんでした。

成り行きを見守っていた市民も解決策を考えあぐねている中、第1発見者でもある対馬高校1年生の久和奈津子さん(厳原町久和)が、「放っておくと、生きていけないから」と自宅で飼育することを決断しました。命を大切にしたいという少女の気持ちによって、小さな命が救われました。



保護したヒナを心配そうに見つめる女子高生

バレーボール

男子 (優勝) 雑知 (2位) 東部 (3位) 大船越、仁田

女子 (優勝) 佐須奈 (2位) 豊玉 (3位) 厳原、仁田

バスケットボール

男子 (優勝) 雑知 (2位) 豊玉 (3位) 久田、豆酸

女子 (優勝) 厳原 (2位) 久田 (3位) 雑知、東部

ソフトテニス

男子 (優勝) 久原 (2位) 浅海 (3位) 豊、佐須奈

(個人) (優勝) 上野・土肥(久原) (2位) 松村・糸瀬(久原)

(3位) 龍田・須川(久原) 永瀬・山田(佐須奈)

女子 (優勝) 佐須 (2位) 豊 (3位) 久田、佐護

(個人) (優勝) 中山・幾度(佐須) (2位) 藤・小島(大船越)

(3位) 小田・小島(豊) 尾崎・中村(厳原)

剣道

男子 (優勝) 今里 (2位) 厳原 (3位) 佐須

(個人) (優勝) 田崎裕介(厳原) (2位) 森山翼(今里) (3位)

内山琢巳(佐護)

女子 (優勝) 厳原 (2位) 南陽

(個人) (優勝) 中村恵夢(厳原) (2位) 井川幸美(厳原)

(3位) 沖中則子(南陽)



(写真) バレーボール男子決勝(雑知中VS東部中)で、スパイクを放つ雑知中の選手

(敬称略)

子どもたちのハツラツとしたプレーに、観客席に詰めかけた保護者から大きな声援が送られていました。各競技の結果は次のとおりです。

母校の名譽をかけて熱戦 対馬市中学校体育大会(球技・武道大会)

5月13、14日の両日、第48回対馬市中学校体育大会の球技・武道大会

が峰、豊玉の各会場で開かれ、全島の中学生が集まり熱戦が繰り広げられました。選手たちは、日頃の練習の成果を発揮しようと力いっぱい競技していました。